

- 3.5 オイル、グリスなどの油脂類のない周囲環境でご使用ください。これらの環境下では外部に露出している衝動部(ピストンロッドの表面)にゴミ付着による不具合発生の原因となりますのでご注意ください。

4. 保守点検

- 4.1 取付後 6 ヶ月に 1 度は機能点検を行ってください。

要点 ストロークの確認
 ストッパーとパレットの関係位置
 滑らかな作動
 エアー漏れがない

- 4.2 故障原因の大半は空気中の異物やドレンです。上流側にエアドライヤ、エアフィルタを設置して、これらの原因から発生するトラブルを防止されることをお勧めします。
- 4.3 調整点検時には各部品の関係位置に注意をされて正しく復元できるようにしてください。特にパッキンは丁寧に取扱い、シール方向に注意してください。
- 4.4 部品洗浄時、金属製部品についてはシンナーやトリクレンなどの溶剤を用いられても差し支えはありませんが、金属製以外の部品については鉱物性の軽油で洗浄してください。
- 4.5 回り止め構造となっていますが、ピストンロッド(4)に強い回転を与えないでください。
- 4.6 シリンダを組込まれる前に、ピストンパッキン(18)の摺動部には下記のグリスを軽く塗布しておいてください。但し外部露出不には塗布しないでください。
- 推奨グリス：リチウム石けん基グリス(鉱油系グリス)のちょう度(JIS-K2560) 1号又は2号の使用が最も効果的です。
- 4.7 作動中は絶対に可動部に手を触れないでください。指を挟まれることがあり大変危険です。

5. 故障の原因と対策

- 5.1 ロッドの引込・復帰作動不充分

操作空気圧が低いと思われます。0.2MPa以上としてください。

常用横荷重が大きい場合もあります。停止中の搬送物が本機に加えている荷重が過大の時はこの値を検討してください。

ピストンロッド(4)摺動部にゴミなどの異物が噛みこみ、作動不良になることがあります。点検してこれを除去してください。